

野鳥生息調査結果

(1) 目的

江東区環境基本計画に基づき、野鳥の生息調査を実施することにより、江東区内の野鳥生息状況を定期的に把握し、野生生物保護と生態系保全の基礎資料としています。平成17年度は平成16年度に引続き、水鳥の調査を行いました。

(2) 調査期間

平成17年6月から平成18年2月まで

(3) 調査地域(平成17年度)

野鳥生息調査地域と調査地域の特性

- 1 都立亀戸中央公園 [旧中川沿いの都市公園]
- 2 都立猿江恩賜公園 [横十間川沿いの都市公園]
- 3 仙台堀・横十間川親水公園 [江東内河川沿いの親水公園]
- 4 荒川(新木場)周辺 [大きな河川とその河川敷の水辺公園]
- 5 豊洲運河(越中島)周辺 [大きな河川とその河川敷の水辺公園]
- 6 若洲調整池 [若洲ゴルフ場浸出水の調整池]

(4) 調査方法

定点センサス法またはロードセンサス法により観察される水鳥の種類と出現数を記録しました。なお、本調査ではカイツブリ科、ウ科、サギ科、ガンカモ科、クイナ科、チドリ科、シギ科及びカモメ科の8科に属する野鳥を水鳥としました。

(5) 調査結果

【1】 概要

出現した水鳥の種類は27種類でのべ12,650羽であった。科別では、出現したのは8科であり、カイツブリ科3種類23羽、ウ科1種類329羽(出現率2.6%以下同じ)、サギ科4種類83羽(0.7%)、ガンカモ科10種類11,623羽(91.9%)、クイナ科1種類19羽、チドリ科1種類2羽、シギ科3種類35羽及びカモメ科4種類536羽(4.2%)であった。ガンカモ科の水鳥が出現種類及び出現数ともに最大となり、本区の冬季の水鳥を代表することがわかった。

出現した上位5種類は、(1)ホシハジロ8,936羽(70.6%)、(2)オナガガモ739羽(5.8%)、(3)カルガモ625羽(4.9%)、(4)キンクロハジロ590羽(4.7%)、(5)ユリカモメ451羽(3.6%)の順であり、ホシハジロだけで出

現率が70.6%となり、これら上位5種類で出現総数の89.6%に達した。

反対にチドリ科とシギ科の出現数は合計で37羽(0.3%)と少なかった。

【2】 月別調査結果

ア．6月の調査結果

出現種類6種で149羽であり、この時季は水鳥が少ない。カモ類では、カルガモが仙台堀・横十間川親水公園で46羽、その他の地域で8羽、キンクロハジロが豊洲運河で1羽、出現したが、おそらく渡りをせずに越夏した個体と思われる。カルガモは繁殖していることが確認された。カワウは3地域で出現し、豊洲運河で61羽であった。荒川と豊洲運河で夏鳥であるコアシサシが計16羽出現した。

イ．9月の調査結果

出現種類10種で273羽であり、6月と比べて種類数、出現数ともに増加した。カモ類はカルガモ49羽のみが出現した。秋のシギ・チドリの渡りの季節であるため、キョウジョシギが少数ながら2羽出現した。カモメ類ではウミネコが豊洲運河で22羽、荒川で15羽が出現した。越冬のため南下する途中と考えられる。

ウ．12月の調査結果

出現種類21種で4,154羽であり、9月と比べて種類数、出現数ともに大きく増加した。カモ類などの水鳥が越冬のために区内の水辺に飛来したことによる。とくにカモ類は9月が1種類、49羽であったのに対して12月は9種類、3,887羽に激増した。出現数の上位3種は、ホシハジロが3,023羽で78%、オナガガモが280羽で7%、キンクロハジロが256羽で7%であった。カルガモは調査地域全体では年間を通じて50羽ほど出現するが、冬季には区外からの越冬組加わって、夏季の2倍以上が出現する。カモメ類では、越冬するユリカモメが115羽出現した。また、内湾に生息するカイツブリ類のカムリカイツブリが9羽出現した。サギ類も4種類出現した。冬になると水辺は野鳥でにぎやかとなる。

エ．1月の調査結果

出現種類20種で6,129羽であり、12月と同程度の種類数が出現した。このうちカモ類は8種類であるが、出現数は5,950羽で調査期間中もっとも多かった。カモ類の構成比はホシハジロ85%、カルガモ5%、オナガガモ4%であった。ホシハジロが5,000羽を超えた。カモメ類では、ユリカモメが110羽出現し、12月とほぼ同数だった。カイツブリ類のカムリカイツブリも12月に続いて6羽出現した。

オ．2月の調査結果

出現種類18種で1,945羽であり、1月と比べて2種類減少し、出現数も4,184羽減少した。これはホシハジロが1月と比べて4,193羽減少したためである。カモメ類では、ユリカモメが226羽であった。カイツブリ類のカンムリカイツブリ2羽も3ヶ月続いて出現した。

平成17年度 月別水鳥調査結果表

No	種類	6月	9月	12月	1月	2月	計
1	カイツブリ			2			2
2	ハジロカイツブリ				4		4
3	カンムリカイツブリ			9	6	2	17
4	カワウ	71	144	90	18	6	329
5	ダイサギ	5	2	1	1		4
6	チュウサギ						0
7	コサギ	2	5	6	2	3	21
8	ゴイサギ			9	12	4	25
9	アオサギ	54	22	6	3		33
10	マガモ			46	102	22	170
11	カルガモ		49	137	275	110	625
12	コガモ			9		1	10
13	オカヨシガモ			14	29	44	87
14	ヒドリガモ			104	12	122	238
15	オナガガモ			280	220	239	739
16	ハシビロガモ					1	1
17	ホシハジロ			3023	5053	860	8936
18	キンクロハジロ	1		256	78	255	590
19	スズガモ			18	181	28	227
20	オオバン			3	5	11	19
21	コチドリ		2				2
22	シロチドリ						0
23	メダイチドリ						0
24	ムナグロ						0
25	キョウジョシギ		2				2
26	ハマシギ			10	15		25
27	キアシシギ						0

28	イソシギ		3	3	1	1	8
29	ソリハシシギ						0
30	チュウシャクシギ						0
31	セイタカシギ						0
32	セグロカモメ		6	13	2	10	31
33	ユリカモメ			115	110	226	451
34	ウミネコ		38				38
35	アジサシ						0
36	コアジサシ	16					16
	出現数計	149	273	4154	6129	1945	12650
	出現種類数	6	10	21	20	18	27

【3】 地域別調査結果

ア．亀戸中央公園

年間で9種、のべ661羽が出現した。公園東端を流れる旧中川の河川敷の整備により親水機能が向上した結果、12月から2月までの冬季にカモ類やユリカモメが集まる。とくにオナガガモが多く見られるのがこの地域の特徴で、12月には118羽が出現した。他の地域でよく出現するカルガモは観察されなかった。またユリカモメが2月に172羽が出現した。

イ．猿江恩賜公園

年間で9種、のべ522羽が出現した。公園内に3ヶ所の池があり、また東側に横十間川があるため冬季にカモ類が集まる。カルガモが年間を通じて出現した。2月にはオナガガモ102羽、カルガモ64羽が出現した。コガモが12月と1月に1羽出現した。コガモはここで毎年観察されている。このほかマガモ、オカヨシガモ、ハシビロガモ、キンクロハジロが出現したほか、公園北側の池にはユリカモメが1月に27羽が出現した。

ウ．仙台堀・横十間川親水公園

年間で10種、のべ374羽が出現した。冬季に公園中央の「野鳥の島」周辺や、その西側の仙台堀川にカモ類が多く出現する。もっとも多いのはカルガモで、年間を通じて出現し、12月に85羽が出現した。カルガモは初夏にここで繁殖している。つぎに多いのはキンクロハジロで、12月に34羽が出現した。その他マガモ、ホシハジロが少数出現した。「野鳥の島」ではゴイサギが1月に12羽、アオサギが3羽、ダイサギが1羽出現した。また、カワセミが2ヶ所で出現した。

エ．豊洲運河（越中島周辺）

年間で21種、のべ2,008羽が出現した。調査した6カ所の中で出現した水鳥の種類が最も多く、8種類のカモ類のほか、少数ながらカイツブリ、カワウ、サギ類、オオバン、シギ類、カモメ類が出現した。

カモ類ではホシハジロが12月に297羽、キンクロハジロが2月に226羽、ヒドリガモが12月に72羽、オナガガモが12月に63羽、内湾に生息するスズガモが1月に70羽出現した。他の地域では多く観察されるカルガモはここでは多くなく、最大出現数は9月に17羽であった。

カモ類以外ではオオバンが多く、2月に11羽出現したほか、カンムリカイツブリが2月に1羽出現した。シギ類では秋の渡りの時季の9月にキョウジョシギが2羽出現し、冬季にはハマシギが12月に10羽、1月に15羽が出現した。ウミネコは9月に22羽、ユリカモメは2月に52羽出現した。カワウは年間を通じて出現し、最大数は9月に121羽だった。またアオサギが9月に21羽出現した。

オ．荒川（新木場周辺）

年間で16種、のべ312羽が出現した。ここは荒川の河口にあたり、内湾の水鳥が出現するのが特徴である。出現したカモ類は5種類で、スズガモが1月に111羽、ヒドリガモが2月に49羽、オカヨシガモが2月に7羽が出現したほか、カルガモ、ホシハジロが出現した。

内湾に生息するカイツブリ類のカンムリカイツブリが毎年冬季に数羽出現するが17年度も12、1、2月に2～8羽出現した。このほかのカイツブリ類は12月にカイツブリ2羽、1月にハジロカイツブリ4羽が出現した。

カモ類以外では9月にウミネコが15羽、サギ類でアオサギとコサギが1～3羽出現した。そのほかコチドリが9月に2羽、イソシギが12月に2羽出現した。カワウは年間を通じて出現した。

カ．若洲調整池

年間で11種、のべ8,773羽が出現し、調査した地域の中でもっとも羽数が多く、16年度の2.8倍だった。ここは周囲を木立で囲まれた調整池で人が立ち入らないので、冬季にはたくさんのカモ類が飛来して絶好の休息地となっている。ホシハジロが多いのが特徴で、1月に5,000羽、12月に2,723羽が出現した。その他のカモ類としてはカルガモが1月に164羽、マガモが1月に87羽、オナガガモが1月に30羽出現したほか、オカヨシガモ、マガモ、コガモ、キンクロハジロ、スズガモが出現した。

カモ類以外ではカワウ、コサギ、アオサギ、オオバン、イソシギが出現した。

No	種 類	1 亀 戸	2 猿 江	3 仙台 堀・横 十間	4 荒川 (新木 場)	5 豊 洲運 河	6 若 洲 調 整池	計
1	カイツブリ	0	0	0	2	0	0	2
2	ハジロカイツブリ	0	0	0	4	0	0	4
3	カンムリカイツブリ	0	0	0	16	1	0	17
4	カワウ	8	4	9	28	280	0	329
5	ダイサギ	0	0	2	0	1	1	4
6	チュウサギ	0	0	0	0	0	0	0
7	コサギ	5	3	3	7	3	0	21
8	ゴイサギ	0	0	25	0	0	0	25
9	アオサギ	1	0	3	1	27	1	33
10	マガモ	0	2	3	0	44	121	170
11	カルガモ	0	159	250	4	28	184	625
12	コガモ	0	2	0	0	0	8	10
13	オカヨシガモ	0	0	0	7	70	10	87
14	ヒドリガモ	4	0	0	81	153	0	238
15	オナガガモ	294	283	0	0	120	42	739
16	ハシビロガモ	0	1	0	0	0	0	1
17	ホシハジロ	0	0	6	4	538	8388	8936
18	キンクロハジロ	5	20	65	0	485	15	590
19	スズガモ	0	0	0	125	101	1	227
20	オオバン	0	0	0	0	17	2	19
21	コチドリ	0	0	0	2	0	0	2
22	シロチドリ	0	0	0	0	0	0	0
23	メダイチドリ	0	0	0	0	0	0	0
24	ムナグロ	0	0	0	0	0	0	0
25	キョウジョシギ	0	0	0	0	2	0	2
26	ハマシギ	0	0	0	0	25	0	25
27	キアシシギ	0	0	0	0	0	0	0
28	イソシギ	1	0	0	2	5	0	8
29	ソリハシシギ	0	0	0	0	0	0	0
30	チュウシャクシギ	0	0	0	0	0	0	0
31	セイタカシギ	0	0	0	0	0	0	0
32	セグロカモメ	0	0	0	7	24	0	31

33	ユリカモメ	342	48	8	0	53	0	451
34	ウミネコ	1	0	0	15	22	0	38
35	アジサシ	0	0	0	0	0	0	0
36	コアジサシ	0	0	0	7	9	0	16
	出現数計	661	522	374	312	2008	8773	12650
	出現種類数	9	9	10	16	21	11	27